

## 令和2年度事業計画

### 基本方針

令和2年度は、開館45周年を記念し、大原美術館及び日本民藝館から作品を借用のうえ、特別展を開催する。また、同じく開館45周年記念事業の一環として記念館屋根改修工事（銅板葺き替え）並びにDVD鑑賞スペースの充実化（大型モニター設置）など、長年の懸案だった建物設備の整備を図るものである。

また、当記念館を窓口として各方面で実施されてきたアメリカ合衆国メイン州との版画交流は、6年目を迎え、年数を重ねるごとに活発な広がりを見せている。当該年度も版画交流事業を支援することにより、当財団としても棟方を顕彰し、作品を広く普及する観点から、引き続き積極的に協力するものである。

さらに通常の作品普及活動である他館への作品貸出については、福島県立美術館及び和歌山県立近代美術館から作品借用依頼を受けており、出品要請に沿うよう尽力するものである。

次に青森県立美術館との連携による従来からの支援事業等は、当該年度も継続的に実施することにより、本県の芸術文化の向上に貢献するものである。

### I 棟方志功顕彰事業

#### 1 記念館運営事業

##### (1) 作品展示

令和2年度の作品展示は例年どおり四期に分けて行い、その主な展示作品は次のとおりである。

##### ①春の展示「海と山－故郷と旅－」

会期：令和2年3月10日（火）～6月14日（日）

日本海、津軽海峡、太平洋と三方を海に囲まれ、八甲田を身近に感じる青森市に棟方志功は生まれました。八甲田に足しげく通い、合浦公園から海と山を繰り返し写生して心に焼き付けた故郷の海と山のある風景は何処にいても忘れることなく描き続けました。春の展示では故郷の海と山の風景、また、旅先での海と山を主に紹介いたします。

##### 【主な展示作品】

板画：海山の柵、東海道棟方板画、八甲田山の柵、津軽海峡の柵など

倭画：懐邦図、下北半島突岬眞景、八甲田連山図、龍飛岬図など

油絵：信州シリーズ、日立の海シリーズなど

書：海山

## ②夏の展示「棟方志功、海を渡る。」

会期：令和2年6月16日（火）～9月22日（火）

棟方志功の作品が初めて海外へと渡ったのは昭和7年。第7回国画会展に出品した版画4点のうち3点がボストン美術館、もう1点がパリ・リュクサンブール美術館に収められました。戦後は数々の国際展で受賞し世界のムナカタとして一躍有名になり、昭和34年には初めて渡米しました。この時はヨーロッパへも足を延ばしてゴッホの墓を詣でます。夏の展示では国際展で受賞した作品、海外で制作した作品を主に紹介いたします。

### 【主な展示作品】

板画：二菩薩釈迦十大弟子、女人観世音板画卷、オーベールのゴッホ兄弟の墓の柵、ホイットマン詩集抜粋の柵など

倭画：御鷹図（紐府客中）、アメリカ旅行のスケッチなど

油絵：大印度シリーズ

## ③秋の展示「開館45周年特別展 棟方志功を育てた人々―<sup>たたえ</sup>頌と<sup>こたえ</sup>応」

会期：令和2年9月24日（木）～12月6日（日）

棟方志功は油絵画家を目標に上京し、独学で帝展入選を目指しました。国画会展に出品した「大和し美し」は濱田庄司、柳宗悦に認められ日本民藝館で購入することになりました。その後河井寛次郎に紹介されたことで民藝運動の推進者達と親しく交わり、そこから棟方にとって大きな存在となる人々との交流が広がっていきました。秋の展示では開館45周年企画として、棟方を育てた人々と棟方との関連を紹介するとともに、そこから生まれた作品を主に紹介します。

### 【主な展示作品】

板画：大和し美し、道祖土頌、心偈頌、柳仰頌、鐘溪頌、捨身飼虎の柵など

倭画：御群鯉図、御鷹々々図など

油絵：太陽花シリーズなど

書：不二法門など

## ④冬の展示「胸肩妃」

会期：令和2年12月8日（火）～令和3年3月14日（日）

棟方志功は自らの姓のルーツが九州にあるとし、福岡の宗像大社の祭神が宗像三女神といわれることから女神崇拝を強めていきます。数ある棟方作品の中でも人気を集める女人像は、初期の西洋風の貴婦人から始まり、後年は女人に菩薩の姿を重ね合わせた姿を多く描くようになりました。冬の展示では棟方が描いた女人像の変遷を紹介します。

### 【主な展示作品】

板画：ヴェニユス生誕、湧然する女者達々、鍵板画柵、弁財天妃の柵など

倭画：両妃図、御多幅図、清妙妃図、空海妃図など

書：妙など

## (2) 観覧料の改定

一般の観覧料は、昭和50年の開館時に200円(団体150円)とし、昭和61年に300円(団体200円)に、また平成16年に現行の500円(団体400円)に改定して以来、15年間据え置いてきた。しかし、令和元年10月からの消費税増税並びに昨今の運営状況を踏まえて、令和2年4月1日より一般の観覧料を550円(団体450円)に改定する。

ただし、学生(専門含む)300円(団体200円)・高校生200円(団体100円)の観覧料は現状のままとする。(中・小学生は無料)

### 【改定内容】

区 分	現 行		改定案	
個 人	高等学校生徒	200円	高等学校生徒	200円
	学 生	300円	学 生	300円
	一 般	500円	一 般	550円
団 体	高等学校生徒	100円	高等学校生徒	100円
	学 生	200円	学 生	200円
	一 般	400円	一 般	450円

備考 団体とは20人以上の集団をいう。

## (3) 開館及び休館

令和2年度の開館日数は324日とし、9月13日(棟方志功画伯命日)と11月3日(文化の日)は無料開館日とする。

また、休館日は毎週月曜日(祝日及びねぶた期間中を除く)及び12月29日から1月1日としているが、県内外から多数の来館者が予想される8月は無休とし、JR大人の休日倶楽部パス実施期間は可能な限り開館する。

なお、年間の開館・休館日は別紙一覧表のとおりとする。

令和2年度開館日一覧表

… 土日祝休

4月	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	
5月	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日
6月	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	
7月	1 水	2 木	3 金	4 土	5 日	6 月	7 火	8 水	9 木	10 金	11 土	12 日	13 月	14 火	15 水	16 木	17 金	18 土	19 日	20 月	21 火	22 水	23 木	24 金	25 土	26 日	27 月	28 火	29 水	30 木	31 金
8月	1 土	2 日	3 月	4 火	5 水	6 木	7 金	8 土	9 日	10 月	11 火	12 水	13 木	14 金	15 土	16 日	17 月	18 火	19 水	20 木	21 金	22 土	23 日	24 月	25 火	26 水	27 木	28 金	29 土	30 日	31 月
9月	1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日	7 月	8 火	9 水	10 木	11 金	12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	
10月	1 木	2 金	3 土	4 日	5 月	6 火	7 水	8 木	9 金	10 土	11 日	12 月	13 火	14 水	15 木	16 金	17 土	18 日	19 月	20 火	21 水	22 木	23 金	24 土	25 日	26 月	27 火	28 水	29 木	30 金	31 土
11月	1 日	2 月	3 火	4 水	5 木	6 金	7 土	8 日	9 月	10 火	11 水	12 木	13 金	14 土	15 日	16 月	17 火	18 水	19 木	20 金	21 土	22 日	23 月	24 火	25 水	26 木	27 金	28 土	29 日	30 月	
12月	1 火	2 水	3 木	4 金	5 土	6 日	7 月	8 火	9 水	10 木	11 金	12 土	13 日	14 月	15 火	16 水	17 木	18 金	19 土	20 日	21 月	22 火	23 水	24 木	25 金	26 土	27 日	28 月	29 火	30 水	31 木
1月	1 金	2 土	3 日	4 月	5 火	6 水	7 木	8 金	9 土	10 日	11 月	12 火	13 水	14 木	15 金	16 土	17 日	18 月	19 火	20 水	21 木	22 金	23 土	24 日	25 月	26 火	27 水	28 木	29 金	30 土	31 日
2月	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日			
3月	1 月	2 火	3 水	4 木	5 金	6 土	7 日	8 月	9 火	10 水	11 木	12 金	13 土	14 日	15 月	16 火	17 水	18 木	19 金	20 土	21 日	22 月	23 火	24 水	25 木	26 金	27 土	28 日	29 月	30 火	31 水

◆展示カレンダー

- ・ 春の展示 海と山－故郷と旅－ 3月10日(火)～ 6月14日(日)
- ・ 夏の展示 棟方志功、海を渡る。 6月16日(火)～ 9月22日(火)
- ・ 開館45周年特別展 棟方志功を育てた人々－頌と応 9月24日(木)～ 12月6日(日)
- ・ 冬の展示 胸肩妃 12月8日(火)～令和3年 3月14日(日)

◆無料開館日

9月13日（棟方志功画伯命日） 11月 3日（文化の日）

◆その他

大人の休日倶楽部パス

6月25日～7月7日、9月7日～9月16日、11月26日～12月8日、2020年1月14日～1月26日

## 2 作品保存普及事業

### (1) 作品貸出

令和2年度は次のとおり作品貸出を行い広く棟方芸術の普及を図るものである。

#### ①近現代版画の名作展 2020 もうひとつの日本美術史(仮)への貸出

会 期：令和2年7月11日(土)～8月30日(日)

会 場：福島県立美術館

会 期：令和2年9月19日(土)～11月23日(月)

会 場：和歌山県立近代美術館

主 催：各開催館、読売新聞社、美術館連絡協議会

貸出作品：二菩薩釈迦十大弟子

二会場それぞれの期間中前期または後期の展示となる。

#### ②一般財団法人青森市文化スポーツ振興公社主催「棟方志功賞版画展」への貸出

会期及び会場：2月上旬 青森市民美術展示館

青森市文化スポーツ振興公社が主催する「棟方志功賞版画展」は小・中学生、高校生を対象とした版画作品の公募展であるが、当記念館では主催者からの依頼によって参考出品として棟方志功の版画作品を例年出品しており、令和2年度で33回目となる。

作品貸出料については、棟方志功画伯の偉業をたたえ青森市の版画芸術の振興と青少年の創造性の向上を図るための事業であることから免除している。

#### ③青森県立美術館内「棟方志功展示室」での作品展示

当記念館では、青森県立美術館運営支援事業委託契約に基づき、美術館内の「棟方志功展示室」の展示業務を行っている。作品展示は概ね年間4回展示替えしており、展示テーマによっては美術館の所蔵作品だけではなく、当記念館の所蔵作品も展示するが、それらの展示作品は無償で提供、展示している。

### (2) 作品受贈

全国に散在する棟方作品のコレクターに対し、引き続きホームページ等により当記念館への寄贈について広くPRするとともに、必要に応じて訪問調査、作品鑑定のうえ棟方作品の収集に務めるものである。

### (3) 作品修復

収蔵作品の劣化状況を調査のうえ順次計画的な修復作業を専門家に依頼し、作品の保存に務めるものである。

### (4) 賛助会員募集

当法人の設立目的に賛同し、協力してくれる個人または団体を広く募り、その会費を当法人の運営事業活動に充てるものである。

### (5) アメリカ合衆国メイン州との版画交流

当記念館を窓口として実施されてきたメイン州との版画交流。令和2年度はこれまで同様、青森市民文化祭での展示作品の受け入れ及びメイン州での展示作品の発送に係る連絡業務、費用の一部負担等、当記念館としても継続的な活動に協力するものである。

### 3 開館 45 周年記念事業

#### (1) 特別展「棟方志功を育てた人々―頌（たたえ）と応（こたえ）」の開催

大原美術館（岡山県倉敷市）から本県初公開となる倭画の大作「御群鯉図」をまた、日本民藝館（東京都目黒区）から板画「心偈頌」、「柳仰板画柵」を借用し、棟方を育てた人々と棟方との関連を紹介するとともに、棟方が各氏を讃え、捧げた作品やそれぞれの教えに応えた作品を主に紹介する。

#### (2) 屋根改修工事

記念館の建物は校倉造りを模しており、屋根は銅板葺きの一文字張りである。これまで、平成 3 年度の大型台風、平成 24 年度の暴風による剥離被害を受け、その都度応急修繕を実施してきた。また、平成 23 年度に屋根裏の状況を調査したところ、屋根下地材の老朽化や銅板を留める釘の経年劣化等、専門家から早期の改修を勧められていた。今回の改修では銅板葺き屋根の全面を葺き替え（棟・破風を除く）、屋根剥離による飛散被害を来さぬよう安全性を確保するものである。

#### (3) DVD鑑賞スペースの充実化

2 階ロビーの一角で DVD「彫る―棟方志功の世界」を 37 インチモニターで上映しているが、来館者からは「もっと大きな画面で見たい」との声が多く、また鑑賞時に座る長椅子も老朽化していることから、大型モニター及び椅子を新規購入し、当該スペースの充実化を図るものである。

## II 青森県立美術館連携事業

青森県立美術館の開館にあたり、平成 18 年度から「事業連携等に関する協定」を締結のうえ、所蔵作品の相互貸与及び棟方志功に係る展覧会の実施による棟方志功画伯の顕彰を強化するとともに、長年の美術館支援及び記念館運営のノウハウを活かした県立美術館の円滑な運営に寄与するために行う県立美術館業務を受託してきた。

令和 2 年度も引き続き同館との連携事業を推進することにより、青森県の芸術振興に寄与するものである。

### 1 運営支援事業

- (1) 棟方志功画伯に係る研究及び作品展示に係る学芸業務
- (2) 観覧料の徴収
- (3) 受付・案内及び展示に係る監視等の管理指導  
キッズルームの管理に関する業務
- (4) 情報発信
- (5) その他事業連携等に関する協定に基づく運営業務

## 2 受付監視事業

- (1) エントランス総合案内、発券機による観覧券の販売、展示等の案内、電話での団体受付及び問い合わせ対応
- (2) 作品及び観覧者の監視
- (3) 図書室内でのレファレンス等対応
- (4) キッズルームでの監視、秩序の維持
- (5) 来館者への便宜の供与及び安全確保

## Ⅲ 物品販売事業

棟方作品をより身近に感じていただくため、また当記念館での観覧記念として、棟方作品の複製品を販売している。この複製品は当記念館が企画、制作しているオリジナル複製品と他社が企画、制作し当記念館での販売を委託されている受託品に大別されている。

令和2年度は来館者アンケートで要望が多かったノート及びマスキングテープ、そして来館者からリクエストの多い風呂敷の製作を計画しており、魅力あるグッズを開発することにより積極的に増収を図るものである。

なお、当記念館では来館者のみならず、他館展覧会へ作品を貸し出す際は、会場での棟方グッズ販売を積極的に働きかけている。

収支予算書(正味財産増減計算書ベース)

2020年4月1日から2021年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減	備 考
<b>I 一般正味財産増減の部</b>				
<b>1. 経常増減の部</b>				
<b>(1) 経常収益</b>				
基本財産運用益	241,000	1,501,000	△ 1,260,000	
基本財産受取利息	1,000	1,000	0	基本金利息
基本財産収入賃貸料	240,000	1,500,000	△ 1,260,000	作品貸出料
特定資産運用益	6,000	6,000	0	
特定資産収入利息	6,000	6,000	0	作品購入基金利息
受取会費	1,568,000	1,564,000	4,000	
賛助会員受取会費	1,568,000	1,564,000	4,000	元年度実績見込み同様
事業収益	92,609,000	82,063,000	10,546,000	
記念館運営事業収益	8,730,000	7,383,000	1,347,000	観覧者数過去5ヵ年実績平均の80%を見込む
運営支援事業収益	16,790,000	16,790,000	0	青森県立美術館運営支援等業務受託
受付監視等事業収益	60,000,000	51,442,000	8,558,000	青森県立美術館受付監視等業務受託
物品売払収益	6,748,000	6,138,000	610,000	オリジナル複製品 元年度実績見込み同様
受託品販売受取手数料	341,000	310,000	31,000	他社受託製品 元年度実績見込み同様
受取補助金等	7,000,000	7,000,000	0	
青森県補助金収益	7,000,000	7,000,000	0	棟方志功記念館運営費補助金
<b>経常収益計</b>	<b>101,424,000</b>	<b>92,134,000</b>	<b>9,290,000</b>	
<b>(2) 経常費用</b>				
事業費	125,700,000	131,552,000	△ 5,852,000	
役員報酬	2,535,000	2,535,000	0	専務理事報酬
給料手当	12,184,000	11,812,000	372,000	職員2名
臨時雇賃金	63,846,000	54,976,000	8,870,000	嘱託職員5名、記念館及び県立美術館パート職員
退職給付費用	781,000	22,702,000	△ 21,921,000	職員2名
福利厚生費	6,301,000	5,222,000	1,079,000	社会保険料等
旅費交通費	530,000	600,000	△ 70,000	作品受贈等
通信運搬費	3,218,000	1,677,000	1,541,000	作品運送展示替え等
減価償却費	3,802,000	3,802,000	0	記念館建物等
消耗品費	2,534,000	1,602,000	932,000	事務用品等
修繕費	300,000	400,000	△ 100,000	記念館施設修繕等
印刷製本費	1,100,000	1,291,000	△ 191,000	PRポスター等
燃料費	2,127,000	2,436,000	△ 309,000	冷暖房燃料等
光熱水費	3,171,000	3,473,000	△ 302,000	電気料等
賃借料	1,793,000	1,340,000	453,000	事務機器リース等
保険料	792,000	722,000	70,000	作品運送展示一貫保険等
諸謝金	40,000	40,000	0	生け花奉仕団体謝礼金
報償費	60,000	80,000	△ 20,000	来賓及び作品寄贈者への贈呈品
物品仕入	5,016,000	3,156,000	1,860,000	販売用複製品に係る製作及び仕入代金
租税公課	8,493,000	6,424,000	2,069,000	消費税額等
広告料	45,000	42,000	3,000	求人広告
委託費	6,757,000	6,959,000	△ 202,000	清掃及び警備等
雑費	275,000	261,000	14,000	口座振込手数料等
管理費	2,775,000	7,235,000	△ 4,460,000	
役員報酬	915,000	883,000	32,000	評議員、理事及び監事
給料手当	149,000	139,000	10,000	専務理事、職員2名管理業務按分額
福利厚生費	18,000	16,000	2,000	職員2名管理業務按分額
会議費	73,000	74,000	△ 1,000	評議員会及び理事会
旅費交通費	247,000	297,000	△ 50,000	評議員会及び理事会旅費等
通信運搬費	211,000	235,000	△ 24,000	賛助会関係等
交際費	100,000	100,000	0	慶弔費等
消耗品費	185,000	213,000	△ 28,000	事務用品等
印刷製本費	247,000	247,000	0	賛助会関係等
光熱水費	0	118,000	△ 118,000	旧板画館電気料等
報償費	182,000	182,000	0	お歳暮等
租税公課	179,000	812,000	△ 633,000	消費税額等
支払負担金	61,000	61,000	0	全国美術館会議等年会費
委託費	138,000	3,788,000	△ 3,650,000	賛助会関係等
雑費	70,000	70,000	0	口座振込手数料等
<b>経常費用計</b>	<b>128,475,000</b>	<b>138,787,000</b>	<b>△ 10,312,000</b>	
<b>当期経常増減額</b>	<b>△ 27,051,000</b>	<b>△ 46,653,000</b>	<b>19,602,000</b>	
<b>2. 経常外増減の部</b>				
<b>(1) 経常外収益</b>				
経常外収益計	0	0	0	
<b>(2) 経常外費用</b>				
固定資産売却損	0	97,438,000	△ 97,438,000	
土地売却損	0	78,726,000	△ 78,726,000	
建物売却損	0	18,712,000	△ 18,712,000	
その他経常外費用	0	4,000	△ 4,000	
電話加入権除却額	0	4,000	△ 4,000	
経常外費用計	0	97,442,000	△ 97,442,000	
<b>当期経常外増減額</b>	<b>0</b>	<b>△ 97,442,000</b>	<b>97,442,000</b>	
<b>当期一般正味財産増減額</b>	<b>△ 27,051,000</b>	<b>△ 144,095,000</b>	<b>117,044,000</b>	
一般正味財産期首残高	1,593,416,162	1,737,511,162	△ 144,095,000	
一般正味財産期末残高	1,566,365,162	1,593,416,162	△ 27,051,000	
<b>II 指定正味財産増減の部</b>				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
<b>III 正味財産期末残高</b>	<b>1,566,365,162</b>	<b>1,593,416,162</b>	<b>△ 27,051,000</b>	